

平成27年度活動報告書 (1/3)

学部・委員会名	コンピュータセンター
学部長・委員長等氏名	センター長 穂坂 賢
担当所管	コンピュータセンター事務局
テーマ	【教育支援】情報基礎（一）、情報基礎（二）の授業支援

1. 目標（改善点や実施の背景となる事由、達成したい目標など）
目標:円滑な授業運営のための支援を行う 評価目標: ①計画通り実施できたか ②問題点・改善点を把握し、対処できたか
2. 実施計画（具体的な方法・手段とスケジュールなど）
①時間割調整と作成 ②TA・アルバイト配置調整 ③TA・アルバイト労務管理 ④パソコン保守実施（春、夏） ⑤演習室点検 ⑥非常勤講師との意見交換会実施調整 ⑦テキスト改訂の調整 ⑧ネットワーク利用ガイド（サブテキスト）改定の調整
3. 達成度を判断するための指標
・非常勤講師との連絡票（月に一度回収）により日常的な問題点を把握する。 ・意見交換会（7月、12月開催）により授業の様子、問題点、テキスト、シラバス等に対する意見、改善点をチェックするとともに欠席の多い学生などの把握も行う。
4. 成果・評価
■成果 TA,アルバイトが配置通り1年間続けて勤務できたことで、信頼関係が築け授業運営も円滑にいった。また、前期よりも後期の方が学生自身も自覚をもって勤務したと、非常勤講師からの評価も高かった。 ■評価（5～1で記載してください） 4 方針に基づいた活動ができ、目標が概ね達成できた
5. 課題及び改善事項
TA 配当枠（予算）が、実際のクラスよりも少ないため、すべてのクラスに TA を配置することができないため、TA 配当クラスと配当できないクラスで授業に差がでている。MOS 資格を有する学生を中心に授業補助アルバイトを採用しているが、やはり大学院生と学部生では指導等に差がつき、教員の負担も増える。均等に配当できるように十分な TA 配当枠を確保するか、授業補助アルバイト予算で大学院生を採用できると理想的である。
6. 平成28年度への継続の有無
有

※添付資料

- ・平成27年度前学期 「情報基礎」の授業に関する意見交換会
- ・平成27年度後学期 「情報基礎」の授業に関する意見交換会

平成27年度活動報告書 (2/3)

学部・委員会名 コンピュータセンター

学部長・委員長等氏名 センター長 穂坂 賢

担当所管 コンピュータセンター事務室

テーマ 【教育支援、就活支援】 Microsoft Office Specialist 対策講座及び認定試験の実施

1. 目標（改善点や実施の背景となる事由、達成したい目標など）
①パソコン利用技術の向上 ②就活に役立つ認定資格の取得
2. 実施計画（具体的な方法・手段とスケジュールなど）
以下の手順で実施する ①実施計画立案・調整 ②実施準備 ③広報 ④説明会開催 ⑤受付 ⑥講座開催 ⑦試験運用
3. 達成度を判断するための指標
①説明会でアンケート収集 ②講座でアンケート実施 ③実施結果の確認と報告を行う
4. 成果・評価
■成果 夏休み期間実施（8月、9月）の講座・試験は、説明会参加者も含めて昨年度よりも減少した。春休み期間実施（2月、3月）においても周知手段を増やしたが、説明会参加者・申込者は減少している。今後は、下記日程に3. ②③を実施するため、現時点での評価は暫定とする。（最終評価は3月11日の試験が終わり次第改めて報告する） 講座A日程：2月22日～25日（26日試験） 講座B日程：3月1日～10日（11日試験） ■評価（5～1で記載してください） 3 方針に基づいた活動ができた
5. 課題及び改善事項
講座説明会だけでなく、申込者も減少傾向になっている。学生にとって金額も安くないため、より学生が興味をもつ科目の再検討や、試験のみの実施等運用を見直す時期に来たと考える。また、開催時期についても、3年生においては就職活動に影響が少ないタイミングでの実施も検討する必要がある。
6. 平成28年度への継続の有無
有

※添付資料

- ・Microsoft Office Specialist 対策講座説明会報告 平成27年 夏季
- ・Microsoft Office Specialist 対策講座・試験について
- ・講習会アンケート結果
- ・Microsoft Office Specialist 対策講座説明会報告 平成28年 春季

平成27年度活動報告書 (3/3)

学部・委員会名 コンピュータセンター

学部長・委員長等氏名 センター長 穂坂 賢

担当所管 コンピュータセンター事務室

テーマ【教育支援、研究支援、キャンパスライフ支援】ネットワーク環境の基盤整備と運用およびセキュリティ管理

1. 目標（改善点や実施の背景となる事由、達成したい目標など）

基本方針に基づくネットワーク環境整備

- ① 教育効果の向上に資する基盤
- ② 研究活動を支える基盤
- ③ キャンパスライフに役立つ基盤
- ④ 大学運営を支える基盤

2. 実施計画（具体的な方法・手段とスケジュールなど）

日々の運用の中で以下のことを実施

- ① 運用状況の確認
- ② 利用状況の確認
- ③ 利用者サポート
- ④ 障害対応

3. 達成度を判断するための指標

運用状況、利用状況、利用者サポート状況、障害対応状況等を統計処理し、定例会議で確認するとともに改善点を洗い出す。

4. 成果・評価

■成果

ネットワーク基盤・サーバの運用状況監視、サーバの脆弱性対策および SPAM メールやウイルス対策などのセキュリティ対策、メールや学生ポータルなどのサービスおよびコンピュータ演習室・自習室の運用・利用状況の確認、利用者サポートや障害対応を実施した。また、それらを毎月集計した結果を定例会議で確認し改善の必要があった点については対応を実施した。また、情報セキュリティポリシーを制定しセキュリティアラートの発信等セキュリティ対策を活動させた。

■評価（5～1 で記載してください）

- 4 方針に基づいた活動ができ、目標が概ね達成できた

5. 課題及び改善事項

ネットワークシステムの更新後、1年を経過しているが運用状況監視やシステム集計取得がほぼ安定してできている。今後はさらに効率のよい運用監視方法や集計方法を確立したい。セキュリティ対策においても情報セキュリティポリシーを遵守し啓蒙活動を計画していきたい。また、利用者のサポートについてもホームページやガイドブック等ドキュメントの充実を図りセキュリティ及び利便性を確保していきたい。

6. 平成28年度への継続の有無

有

※添付資料

- ・ポータルインフォメーション発信内容（セキュリティアラート）
- ・定例会ミーティング（業務報告）